



LOVE 鮭ちゃん vol.1

運命の出会い

2011.10.25 友だちとサイクリング中に、偶然見つけた利根大堰。自然の観察室という場所があり、トンネルの中に入ると利根川の川の中が窓になっていて見学できるとのこと。シーズにはサケが遡上してくるのが見えるとのこと、そりゃあいい場所みつけたと喜んで帰宅すると、

ナントそなたが学校からモスリ帰ってきたプリントの中に「11/19. サケ遡上見学ツアーご案内(利根大堰にて)」なんてる偶然!! 好きなものを見つけるとダイニングの神サマがみさあわせしてくれて次々好きになれるもんです!!

もちろん即申込。2年生のそなたは国語でサケの一生を学んでいるので、高崎青年会議所の「ほくらのサケを育てる会」が主催して各小学校へ案内を下さっていたのです。

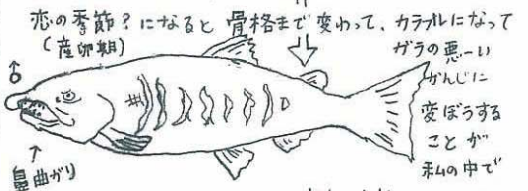
いざ!! 遡上見学へ

2011.11.19. バスにのっていざ利根大堰へ。おー!! いるいるサケちゃん!! カ強いわ!!



はずかしながら、サケが川で生まれ、海へ渡り、4年くらいたつとふるさとの川へ帰って産卵し、生命を終える。てことすら、よくわかっていなかったけど。ふるさとに帰って命がけの産卵をして、命をつなぐサケに感動しないヒトはいないでしょう。実際に躍動するサケ筋肉を見た日にゃあ、「何がなんでもがむしらに」っていう熱いキモチと共に fall in Love サケちゃん。です ナント無料でバスツアーを企画し、幕空間につれていって下さった「ほくらのサケを育てる会」の皆さん、バニリ感謝致します!!

感動の遡上見学の後、
「自然が教えてくれること」と題して、斎藤 裕也 氏の講演会があり、これまた、たのしくて、



ってなかんじ。メスは産卵床と呼ばれる。

1mくらい
30-40cmくらいの産卵場所(川底)を作るために尾ビレで川底の砂利をほるため、尾ビレが半分くらいまですりへってしまうのだとか。で、産卵後産卵床からはなれず、息たえて、死してなおくちた身をわがらの栄養にと身をささげるのだそう。オスはあんなカオしてあんまりほるのを手伝わないとか。



まあ母はエライ!!
その他にも、自然つまり天然のサケは寄生虫がたいてい、さしみは着よくのサケであることや、すじが熟成ほどいいこと。バニサケがとってもオレンジなのは、エビカニ類を専門に食べるから。とか 沢山のサケ情報にフムフムの水を知っていた。そして語は「カムバックサーモン運動」について、魚の全ひ獲や水質汚染、ふるさとにかえってくるサケが少なくなってしまうって、人工的にフ化させた稚魚を川に放流する治癒力があるのです。

日本の最初の稚魚放流は1979年 札幌の豊平川だそう。で、成力を治め、1984年 札幌市豊平川さけ科学館が作られたんだって。いつかいこう!!
高崎では24年前からサケの放流事業と行っているそうで。昭和58年から平成7年までは300尾にみたない遡上数だったのが、平成18年には3215尾も遡上が確認されたとか!!
昨年は5万匹放流したそうです。そりゃあ、放流事業に参加します!! します!! します!! サケの聖親にしびしびります!! <ほくらのサケを育てる会>の方々が12尾にもてなし広場で 卵を画布して下さるとのこと

卵が我が家にやって来た!

2011.12.5. たまきと一緒にもてなし広場へ行って、発眼卵50コほど頂いてきました。大切に育てるゾー!! 日光が苦手とのことなので頂いたらすぐ「ジャンパー」で「おがって」運り帰りました。



2日の出入りのないエアコンもない音屋に水そう設置しました。自力で水そうの上部まで泳げるようになるまで「暗くしとかなくちゃ」なので、四方をダンボールで覆い、上もダンボールをのせて覆いました。←手塩にかけて育てる、決意!! 「手塩屋」(せむべり)の段ボール。

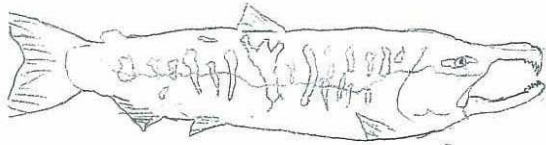
2011.12.8 2匹のふ化を確認。しかしふ化する前に透明感を失った卵は白く周りがふやけたためだ。→20匹くら

2011.12.12 ほぼ全ての卵がふ化しました。←すきを通るような白ニヨロニヨロのよう。目玉がでかい!!

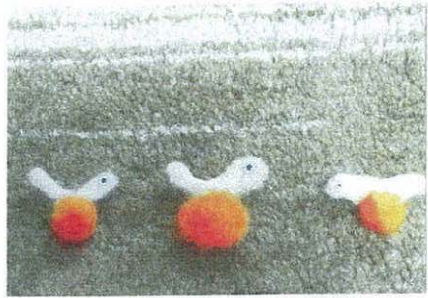
2011.12.16 だいがこけ茶を入れて「厚しくした。大きくなるといい、目玉がはげしくニヨロでもなくなりました。

2011.12.23 たいが魚らしいつやに、いくつ部分か減って体がくさの内部を浸食しているかんじ。よくこけて頭から砂利につこんでいる。30匹以上いそうなので、そなたとたまきと3人で名前を考えました。サーモン、シーモン、ヌーモン、セーモン、ローモン、さけるくん、海川鮭を狩門、リバー・ジャンパー、山・海魚屋安、ブー・メラン、そいほうマン、さけサンタ、ハンジマン、サケほち、ジャンボングボーイ、おひさまのこ、けさもさけ、さけださけお、にせメダカ、げさもさけ、さけげたり、等「かばかしくも愛しい名前をつけました。もちろん区別なんてつかないんですけど」

LOVE 魚蛙ちゃん vol.2

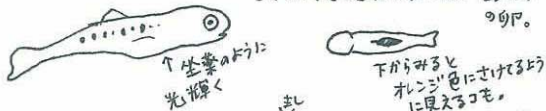


2011.12.26
あまりのいしさに羊毛フェルトで 鮭稚魚マスコットを作ってみました。



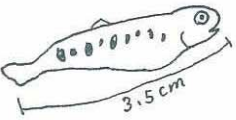
ご近所の中3生が「おたんじょう日だ」なので、1つあげて、「あなたは今からまさに海へと旅するんだねーいろんなことが待ちかかっているけど大丈夫! きみは、きと立派になつてくれるよ」... 的なことを書いて渡したら、「イシイさんらしいや」と喜んで、ナント、受験会場にもっていく決意表明をしてくれました。泣かせるじやないですか。ありがとうたくみくん。

2012.1.3
もうおなかガ 横から見てもオレンジなコはいなくなりました。しかし内をしましてはいないおなかの卵。



エサを1日3回与えはじめたが殆どのコはまだ下の方を泳いでいます。

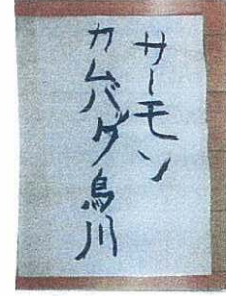
2012.1.5 全長3.5cm
昼は水そうのまん中らへんを元気に泳いでいるが夜は多少りに頭からつっこんでさっている。



2012.1.6 「書き初め」
今年の書き初めは誰からもなく魚まがらみのことばばかり書きました。



↑
心を込めて
たまには
まじめに。
ぼうら書



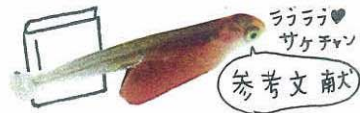
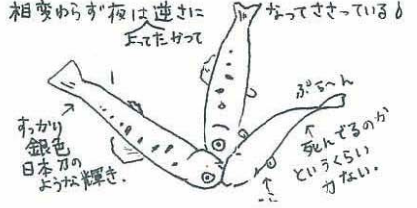
そなた
渾身の書
帰ってこいよー
ふるさとへー
12オに作った
そなたと
42オに作った
和ヒ
10オに作った
たまが
まてるゾー



←6歳ホヤヤ
たまきの書
10のフル
カゴール
百歳!

魚まがらみの書の世には、「きぎな」「かんばろう東北」子どもたち自ら考えて書き出しました。昨年までは「どんと決まて火炭から、火炭いであいしい字をかこう」とかいて、「芋」とか「肉」とか書き初めしていたのに... 人間の想いは書を変えたのでした!!

2012.1.3
はじめでうちをしているコを発見!!
1日3回のエサも上まで食べにきてくれるコは2〜3匹、そのコたちはとてつもなく元気でフタを開けるとび出しそうな元気さ。他のコも食べてるといいなァ。相変わらず夜は逆さになってささっている。



『鮭よ、もどってこい』(絵本)
一魚の産卵現場をつた人青砥武平次ー近藤弓矢作 おおば比呂司.絵
1751年頃にサケは4.5年でふる里に帰るらしいと知り、.河川を整備し、「サケは日本の宝」といういた青砥武平次さん、スゴイ人だ!! 熱いキモチになるぞ!

『サケの旅』おおば比呂司文.絵
子どもにわかりやすい (絵本)

『サケ』-川はぼくらのふるさとを桜井淳史
写真が豊富でわかりやすい児童書

『鮭の一生』とんぼの本
梶田一俊 野田知佑 他
サケと環境について考えさせられる本

『鮭まがらみサケ談義』木村義一
よみ物としておもしろい

『神の魚・サケ』
北海道立北方民族博物館
パンフレット

アイヌのサケ漁の道具などの写真
『カーンバック・サーモン』小田淳
魚まの生態、放流事業の歴史がくわしくわいてある本

『トータル・サーモン』
フリーマンハウス著、馬場只智訳
自然に対する感性が石開きまじり本

2012年1月23日現在
推定 30匹
12月13日以降現在死亡者 0

3月3日放流まで、どうか石井家で全員元気できて下さい! そして4年~5年後鳥川で産卵して下さい!! サケちゃん♥

またぼうら通信で
おしらせします♪

というわけで「自然界の生きものが元気でいてくれることを願ってやみませんので...

野鳥病院に行つて来ました 2011.6.11, 2011.11.3

野鳥ファンになってから、あちこち野鳥関連の場戸行を言われていた石井家、ずいぶん気になっていた「野鳥病院」に見学申込みの電話をしてみました。その日は土曜日です。本来見学は平日だったにもかかわらず、「私しかないのではおまじいできませんが、ぜひお多さんに見せてあげて下さい。」と本当に親切に対応して下さい。お言葉に甘えて伺いました。中には沢山の野鳥が手当てをうけゲージにいました。快く招待して下さいたスタッフの方は、それぞれがやさしい女性でした。ツバメのヒナに羽笛用のミルクを与えたり、小鳥たちにミルクを与えたり、猛禽類に石少肝やケイトウを煮込んで与えたり、そうじをしたり、とテキパキお仕事こなすスタッフ、とても親切に対応して下さいました。そして、ナントトビ、ヤハヤバサ、オオタカの羽根を下さいました。



親切なスタッフの方々に手当てをうけ、放鳥の日を待っているメンバーはハヤバサ、トビ、ノスリ、オオタカ、ミサゴ、キジバト、ドバト、トビ、オオハシバシバ、クロウグミ、オオルリ、ルリビタキ、イワツバメ、ツバメ、スズメ、そろしちやう、マガモ、カルガモ、フクロウたち(6/11現在)でした。はやくよくなーね。そして、11月3日に毎年林業試験場でのイベントがあって、野鳥病院も一般開放になるからぜひおいで、と教えて下さいました。

再び野鳥病院へ 北群馬郡榛原村新井2935 027-373-2900

2011.11.3. 待ちにまったイベント当日、野鳥病院に再び伺いました。すると、6月にお会いした女性スタッフの方が覚えていて下さって、子どもたちに小鳥たちのエサやり、トビエサ用の砂肝つぶし&エサやりを体験させて下さいました。



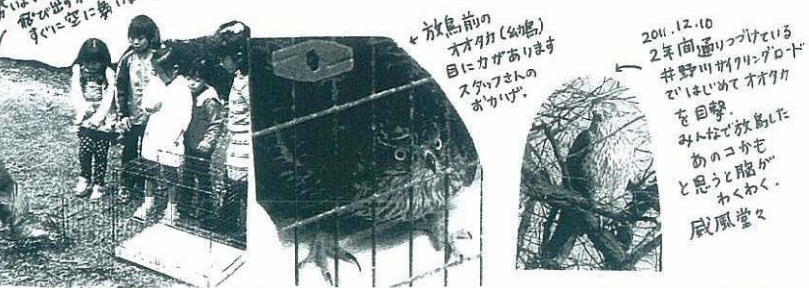
←密猟され
違法に
飼育された
ものを保護された
こまどり
夏鳥なので冬の
今、野に放さないのだから、
暇がきほし思ひ...



トビのエサ用に
石少肝を
トンカチで叩いて
くだく。
でもトビは
実は、トビの方
が、ちんちんを
与える。

放鳥体験

イベントの日、広場にて、野鳥病院で回復したとりたちを放鳥するイベントもあり、そうもたまきもナントオオタカの放鳥を体験させて頂き、感激でした。



ありがとうございます。野鳥病院の皆さん。皆様と鳥たちの健康をお祈りしています。

LOVE 鮭ちゃん vol.3



Vol.2 では 12/5 ~ 1/23 までのサケちゃんの様子をご報告して参りました。で、この Vol.3 では 1/24 から 3/3 の放流までのサケちゃんたちの様子を ご報告します。

1/24 ヒンデ!! 逆さ(あおむけ)泳いでるコがいる!!



1/29 . 昨日、今日で 4匹も死んでしまった。47日ぶりの死に本当に落胆 水槽の下(砂利の上)で横たわって ころうじてエラだけ動かしている。みんな 死のメンバーを 別水槽に移動。とりあえず エアポンプだけ入れて 様子を見ることにしました。

1/31 2匹おせくなり..

2/1 このところ、サケちゃん皆 死の状態で水そうを見に行くの がとてもブルー。

12/5 以来はじめて水そう丸ごと洗って水替え(水は半分くらい替え) をしてみたら、石の間に もったりゴミが かかれています。ビックリする程汚 れて大反論しました。外掛けフィルターの おかげで水は澄んでいたので.. この汚水が 命をうばっていたのかな.. ごめんなさい。

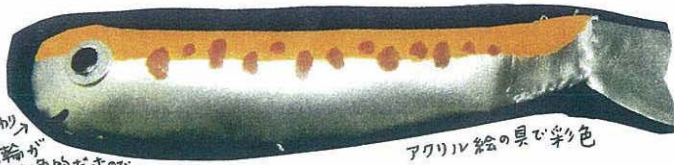
2/3 みんな死の横たわりメンバーを移動した別水槽の中にも 4匹くらいは 泳げるコマまで来て 希望がわいてきました。久々に 写真を撮る気持ちに。

2/6 この数日で 4匹おせくなり..

2/9 1月末から 2月頭にかけて、死んでしまうコが増えて 心配したけれど 本水槽も 別水槽も丸ごと洗って、1匹ずつ 数えながら おみて.. 移動させたところ

本水槽 21匹
別水槽 11匹 > 計 42匹も生きてくれた! がんばれ
5cm くらいの コモいる!! 足音や気配に 侮れ感に 泳ぐように!!

2/15 1匹おせくなり..
もう 失いたくない。柵を入れて サケちゃん入浴をつくらしました。



瞳のまわり 銀の輪が 印象的だから.. フォンサーで表現しました。

アクリル絵の具で彩色

2/20. もともと元気なはずの本水槽の コたちの方が やせている 化育向がある..
よく観察していると、別水槽の コたちは 底におちた エサを 拾って食べている.. そうか本水槽の コは 下に 砂利が いるから 拾い食い できないかったのね..
底に いた 砂利を 全て 撤去しました。



2/16に ご近所 で 1匹のサケちゃんを 飼育しているお宅 にお邪魔して、見せてもらった時、うちの コたちとの 差に びっくり。

うちの コたちは 黄金色で、特有の はん卓も よう とうす くなっているのに、ご近所の「サケ太さん」は 青みがかって たくましく、まるで サモンの 缶詰の デザイン のよう.. ヒーターがある 無し、大量飼育が 否か、で カラダの 色 まで 変わるのかな..

2/23 突如 1匹だけ、サケ太 ↑ のように 黒っぽく 青っぽく 体の 色が かつやく した 1匹が おせくなり になってしま..

本水槽 18匹 } 39匹 になってしまいました。
別水槽 21匹

だけど、39匹は とても元気! 3回のエサをぐんぐんと 増や せないと 対応 できないくらいよく 食べてくれます。 水面に 浮かんだ エサに 体をくねらせて ジャンプして くらいついてくれる コも 沢山 います。

1月末頃は 1匹しか 放流 できないか? と思っただけ だけど!! 鳥川!!



いっはい 食べるコは デブちゃん で パワフル お腹が ぷくらんで 銀色なので 坐席 のよう..

2/24. 体の 色が 濃くなる のって、温度 なのか 日光 なのかもと と 発見 しました。

2匹の 寒い 部屋 にいる サケちゃん たちですが、あたかい くみおき水で 水替えをする 時に 日光を 浴びると、 その 後 数十分の間 深み だけの ような 黒ずんだ もよう になり、はん卓も よう とうす くなる のです。 気のせい ではない と思 います.. でも しばらくすると、また コが 黄色 に.. まるで タタカ の ような 我々 サケちゃん たち、 たい

この 頃から みんなで 横並み になって 一方 向を 向いて



体をフルフル 揺る ような しぐさを 時折 みる サケちゃん、仲間と 海へ 旅立つ 練習 を している のかな?.

2/27 ~ 3/2 鳥川 園で インフルエンザ が 流行 している ので、バス 内 感染 を 防 ぐ ため 徒歩 でお 迎え、 飼育 にも 環希 も 予防 に 努め て くれて あり がらう。

3/3 いよいよ放流の日

いよいよ 手塩 にかけて 育て きた サケちゃん たち を 鳥川 (からすがわ) に 放流 する 日 が やって 参りました! 晴 天 だす! バンザイ!
1匹 ずつ バケツ に 入り 持ち 運び する ので、39匹 (歳 の 数 だけ) 放流 できる こと になり ました。 昨 25 回 の 放流 事業、鳥川 和田 橋 下 に 700人 ほど 集結 しまし た。 うち の サケちゃん たち は 2つの 水槽 に入れて、外側 から 見える よう に して あた の と 大勢 泳いで いた ので (卵 沢 山 頂 いた ので) 沢 山 の 方 から 注 目 して 頂き、 とても 嬉 しい こと だ した。 そして サケ 稚魚 ヘアピン (手 作り) と サケ 人形 (手 作り) を つけて いた 環希 は J-COM の カメラマン として 頂き、 とても コー フン しまし た。

いろいろな運搬方法



我が家は 携帯 エアポンプ 入り の 水槽 で 放流 の 時 は 7リットル バケツ に 移して 放流。

一番 タガ った の か バケツ の 運搬。

1匹 の サケ を 大き い 立派 に 育て あげ た コウスケ くん たち は 7リットル スナドリ 箱 で。

1リットル ほど と 他 何 件 が 自作 タゴ の 容器

式典で

9:40 から 式典 が 開始 され、高山 青年 会 議 所 の 小澤 理事 長 さん から の おい さが あり ました。 震災 の 影 響 で 例 年 通 り の 卵 の 入 手が 困 難 な 中、メンバ ー が 熱い 想い で 走り 回 っ て 6万 粒 の 卵 の 配布 に 至 った こと を 伺い、改め て 感謝 の じ め 不 平 になり ました。

市長 さん から の おい さで 「子ども たち が すばらしい ドラマ を 作 っ て いる と 思 う」と の おい さ 言葉 を 頂き、教 育 長 さん から は 「この 命 を 育む 体験 は 人 を 大 事 に し、自然 を 大 事 に する 青 少 年 に 育 て て くれる」と の おい さ 言葉 を 頂き、

「やっ ぱい へ っ た ま に は い い こ と で き る 母 ちゃん ね ー ん ね」と 得 意 になり ました。 化 粧、式典 に 参 加 して 下 さ った 方々 皆 さま 温かい メッセージ を 下 さ り、私 の 中 の 「おエライ 方々 は 遠い ヒト」と いう イメージ を 払 拭 して 下 さ いました。

いざ! 放流

式典 の 間 バケツ から 飛び 出 さん ば かり の 勢い で は 収 めて いた サケ ちゃん たち、いよいよ 鳥川 に 突 入 だ す。 これ から は 自 分 で エサ を と っ て 生 きて ゆく んだ よ、死 ね せ ない た め に 過 保護 に して きて くれ ば 大 夫 夫 かな?

バケツ から ヒュルン と 出 て 鳥川 に 放 出 の 姿 を 見 て いたら、涙 が じ わり と あ る べ した。 沢 山 の 暮 び、ドキドキ を あり がらう! 大 事 だ な、ま た 鳥川 に 帰 っ て くる だ よー!!

39匹 だけ に サンキュー!

放流を終えて

無事放流を終えて感じていると、近くに高崎市長さんの姿が。
 「とても楽しかったです！すっかりサケファンになっちゃいました、ホラ見て下さい！サケ稚魚ヘアピンつくったんですよー！」
 とオバチャマアピールすると、「おー、綺麗なね」とほめて下さいました！！
 図々しいついでに、一挙に記念撮影をお願いすると快く応じて下さいました。



↑高崎市長 6才 ↑たき 6才 ↑はるきん(おれの友達)

和が市長という役職をえたならば、ふんわり返っていいおっちゃんと思えますが、(アハハ)とても気さくで温かいお人柄でした。

鳥川ボート体験

放流の日に先着64人にボート体験が出来ると聞いていたのであせて到着してほぼ1番乗りの石井家。
 無事ボート体験の整理券を手に入れました。
 鳥川をボートで、なんて初体験です。だいたいボートは公園の池か湖でしか乗らず、川では夕友川で学生時代に流されかけた以来の体験です。

このボートは船頭さん？と船尾に1人合計2人のその道のプロの方がいて、そのお二人を含め10人乗りで、オールではなくパドルというものでこいで進むのです。

- ・乗下船の時は1人1人慎重にバランスよくのること。
 - ・船の床部分に通っているパイプを踏まないこと
 - ・乗下船以外では決して立ち上がらないこと
- を守れば「楽しく乗れる」とのこと。パドルの操作を説明して頂きいざ鳥川へ出陣。



「今サケちゃんたちと同じ舞台に
 いるのね」としみじみつつ、
 雪化粧した上州の山々の美し
 さに心を奪われ、パドル
 を握り、こぎました。
 乗組員がほとんど子どもだっ
 た為 思うように船が進ま
 ず 途中、岸にいるスタッフに親で
 引はってもらおうというハプニングもありましたが、
 「みんな一命の恩人にお礼言って～」なんて盛り上がりな
 からボートの鳥川を満喫しました。

河川清掃

この放流事業の良いところは、サケが母川として帰ってくる
 この鳥川周辺をキレイにしよう、という活動もセットにな
 っているところです。

こういう時 子どもたちは「役に立ってる自分」を誇りに思え
 るのだと思います。
 よし、徹底的にキレイにしてやる!! ビニール袋と軍手を借りて
 Let's go!

先にボート体験をさせてもらったので、ゴミは殆ど拾いつくされ
 ている状況ではありましたが、
 何故か河原には綿棒くらい太さの銚子の棒があちこち
 落ちていました。

「自然にかえらぬゴミは許さぬ!! 行け! 銚子ハンター」
 と盛り上げて、あちこちにかくれている銚子のゴミを拾い
 あつめました。子どもたちも火燃えていたのをくもりました。

ありがとう 関係者の皆さん、サケたち

この放流事業に関わって本当に良かったです。
 とにかく楽しかった! そんなロマンのあること、なかなかない
 です。

1日に何度も、何十分ものをき込んだ水槽。放流を終え
 た今でも日々、「サケちゃん」といひながら、階段を登って
 しまうほどです。

愛しくて愛しくて撮った写真は200枚をこえていると思います。
 サケの本をよんだり、サイトを見たり、フィルターを買いにいたり
 サケの人開ついたり、サケの水槽洗ったり... 何時間サケを
 想っていたことか。

「放流までは風邪ひくな」が合言葉で、皆体調管理もがん
 ばりました。家族で全力でサケを見守りました。
 たのしかったです!! <ほくらのサケを育てる会>の皆さま、関係
 者の方々にいよいよお礼を申し上げます。ありがとうございます!
 かわいいサケちゃんたちも本当にありがとう!

イシイ家のサケ成長記録

2011.12.5に発眼卵を頂いてから..
 卵のうち白っぽくなって死んでしまったコ→22匹
 卵からちよびり顔を出せたのに死んでしまったコ→1匹
 卵のふくらみがなくなって 魚らしくなってきたコ→12匹
 無事放流できたコ→39匹
 →ということは頂いた発眼卵は74コ
 74コ中39匹が鳥川へ旅出ていったのです。

- 12/5に卵を頂いてから...
- ・ふ化1号のコは12/8 発眼卵が我が家に来てから3日目
 - ・エサを与えはじめたのは12/31から。ふ化1号から24日目。1日3回
 - ・タンボールのおおりをはずしはじめたのは1/11から。
 1日数時間ずつ、おおいをずらして、少しずつ日光に慣らしました
 徐々に慣らして、完全におおいをはずすまで10日くらいかけました。
 - ・フィルター(外掛けろ過フィルターか、エアポンプの中のフィルター)替えは7回
 - ・水を少し減らしての水かえ(水足し)は9回
 - ・水槽をれごと洗っての水かえ(水は吉くらひだけかえる)は6回×2水槽

注意したこと

- ・フィルターをかえた日は、水かえをしない。一かんに水質を変化させない為。
- ・水かえの水は日光にあてて2日以上カルキ抜きをしたものを使う
- ・水かえの水は全体の1/3~半分にどめ、飼育水も残すこと。

飼育の参考にしたもの

<ほくらのサケを育てる会>の『サケの上手な育て方』冊子。
 卵配布の時、エサとこの冊子を頂きました。
 丁寧でとてもわかりやすく、事業への熱い思いが込められた
 ×メッセージは泣けます。
 放流後もとてもおきたり逸品です。

オススメ サケ サイト マイベスト

サケファンになってから、ネットで沢山 サーモンサーフィンを行いました。
 内容が濃く、もっとも楽しめたマイベストサイトは、
 「マルハニチロ ホールディングス」のホームページ内の「マルハニチロ水産
 サイト」から入る「SALMON MUSEUM」です。
 サケのクイズはこの数ヶ月間で、養った知識で全問正解したりして
 人知れずガッツポーズです。
 いやあ.. サケって素晴らしい。
 毎年サケを育て、「サケのエキスパート」になりたいです!